

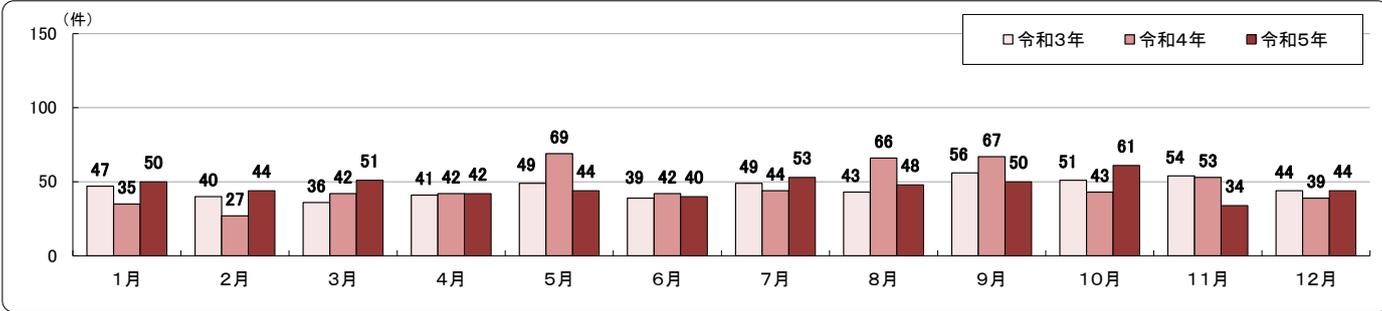
侵入窃盗

令和5年中

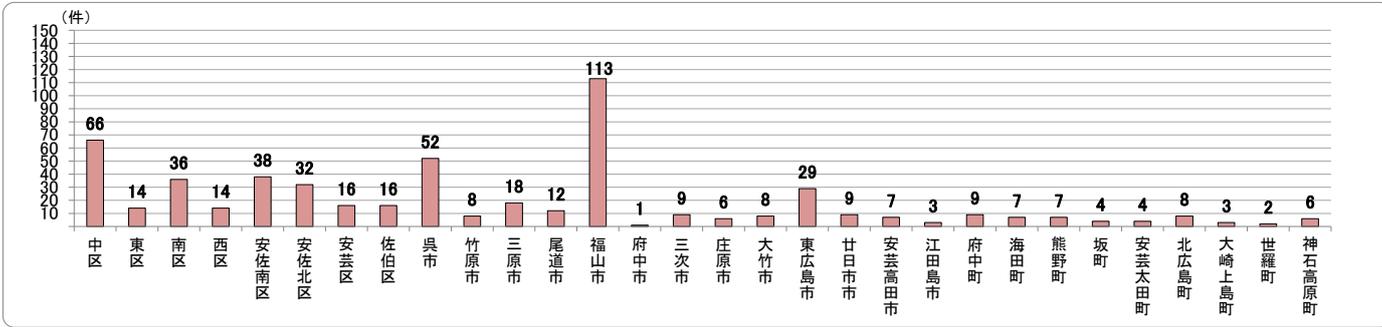
認知件数 561 件 被害額 約 2億2,850 万円
 (前年同期比 -8 件) (うち現金被害 約 1億500 万円)



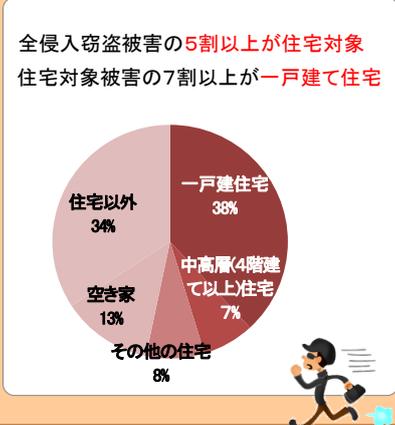
月別



市区町別(令和5年)



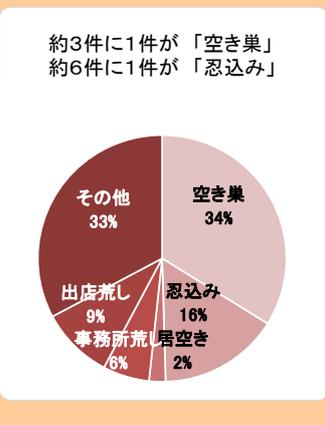
発生場所



住宅以外の発生場所の被害傾向
 住宅以外の侵入窃盗のうち、最も多いのが「空き家」。次いで、「会社・事務所」となっています。



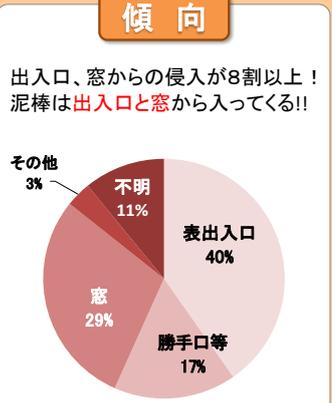
手口



住宅を対象とした侵入手口

- 空き巣
 家人等が不在の住宅の屋内に侵入し、金品を窃取するもの。
- 忍込み
 夜間家人等の就寝時に、住宅の屋内に侵入し、金品を窃取するもの。
- 居空き
 家人等が在宅し、屋敷、食事等をしているときに住宅の屋内に侵入し、金品を窃取するもの。
- 事務所荒し
 会社、組合等の事務所に侵入し、金品を窃取するもの。
- 出店荒し
 閉店中の店舗に侵入し、金品を窃取するもの。

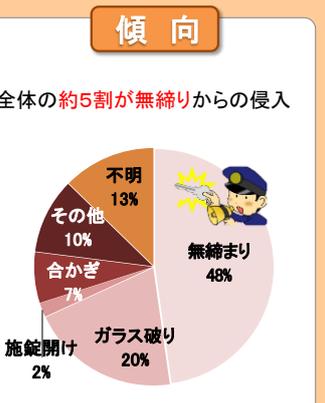
侵入口



対策
 玄関や窓には補助錠で補強したり二重ガラスなどで対策を。
 忘れがちな勝手口や風呂場の窓にも確実に施錠を。
 塀などを伝ってベランダから侵入することもあるので、2階以上でもカギかけなどの防犯対策の徹底を。



侵入方法



対策
 ゴミ出しの時など短時間でも、家を空けるときは、確実に施錠を。
 窓には補助錠をつけるなど、侵入されにくい環境づくりを。



※掲載している数値は暫定数値です。